



Internet Explorer サポートツール解説書

IT-G500/DT-X100/DT-X200

概要説明

Internet Explorer をメインに利用されることを想定している運用に対してシステムの安定化や使いやすさを向上させるために必要な機能を提供します。

ご注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2019 カシオ計算機株式会社

Microsoft, MS, ActiveSync, Active Desktop, Outlook, Windows, Windows NT, および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 社の製品は、OEM 各社に、Microsoft Corporation の 100%出資子会社である Microsoft Licensing, Inc.によりライセンス供与されています。

變更履歷

[illegible]

目次

1. はじめに	1
2. 概要	2
3. インストール	3
3-1. インストール方法	3
3-2. インストール内容	5
4. 機能紹介	6
4-1. 無線LAN接続監視機能	6
4-1-1. 機能内容	6
4-1-2. 構成	6
4-1-3. 起動オプション	6
4-1-4. 動作フロー	7
4-1-5. 初期設定	8
4-1-6. 通常操作	9
4-1-7. 管理操作	10
4-2. キャッシュ削除機能	11
4-2-1. 機能内容	11
4-2-2. 構成	11
4-3. IE操作機能	12
4-3-1. 機能内容	12

1. はじめに

Internet Explorer（以下 IE と略）を主に利用されることを想定した運用に対して、システムの安定化と基本機能の操作を向上させるための機能を提供します。

このプログラムは以下の機種のみでご使用になれます。
その他の機種では使用しないでください。

<<対象機種>>

- IT-G500（WEC7 OS モデル）、DT-X100、DT-X200

提供ファイル

- Setup.exe … CAB ファイル自動実行用モジュールです。
- IE_SupportTools_ARMvX.999.CAB … IE サポートツールのインストーラーです。
※999 はバージョン番号です。

IE サポートツールにつきましては、弊社において各種評価・エージングテストを行っておりますが、ご使用の際は、十分なテストを行った上、ご利用頂けますようお願い致します。

旧バージョンの IE サポートツールがインストールされている場合は、インストールの前に旧バージョンをアンインストールしてからインストールを実施してください。

注意 1：無線 LAN 接続監視機能が動作しているため、アンインストール前に無線 LAN 接続監視機能のプログラムを終了してください。終了方法は、『4-1-7 管理操作』参照。

注意 2：アンインストールすると INI ファイルも削除されるため、必要な場合は事前に退避してください。

アンインストール方法

- ・[スタート]→[設定]→[コントロールパネル] →[アプリケーションの削除]で、旧バージョンの IE サポートツールを選択して削除します。



2. 概要

IE サポートツールでは以下の機能の提供を行います。

- 無線 LAN 接続監視
- キャッシュファイル削除
- IE 操作

■ 無線 LAN 接続監視機能

無線 LAN 接続監視機能は、ハンディターミナルの電源 ON（リジューム復帰）時に無線 LAN カードモジュールが使用できるようになるまでメッセージ画面を表示し、誤操作を防止します。また、このツールの機能として、パスワード設定や、指定したアプリケーションを起動、システム安定稼動のための定期的なリセット運用が出来ます。パスワードを設定することにより、第三者の使用を防ぐことが可能です。

■ キャッシュファイル削除機能

この機能は、IE を用いてネットサーフィンを繰り返していると、IE のキャッシュクリアボタンでも削除されないキャッシュファイルが貯まることがあります。そのまま繰り返し使用すると IE アプリケーションを OFF/ON しても画面が立ち上がらなくなるなどの不具合が生じます。この機能はリセット時にキャッシュファイルを削除する機能です。

■ IE 操作機能

この機能は、IE の機能を利用する為のメニューです。以下の機能が利用できます。

- ・ ツールバーの非表示の切替え
- ・ 最新の情報に更新
- ・ IE の終了
- ・ 指定された URL への移動
- ・ IE 設定

3. インストール

3-1.インストール方法

提供ファイルである Setup.exe と IE_SupportTools_ARMvX.999.CAB を本体の ¥FlashDisk¥Ce¥Arm フォルダにコピーします。
コピー後、本体をリセットすることでインストールを開始します。

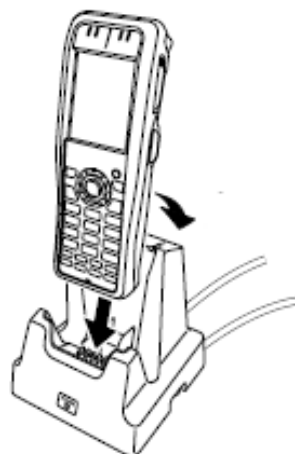
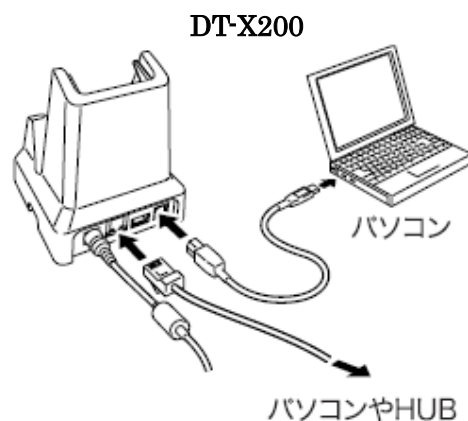
ファイルコピーの手段としては、下記の方法があります。

- Mobile デバイスセンター（WMDC）を使用して、PC よりダウンロードする方法
- MicroSD カードを利用して、コピーする方法
- カシオ通信ツール LMWIN を使用して、PC よりダウンロードする方法

ここでは、Mobile デバイスセンターを利用してファイルをコピーする方法を説明します。

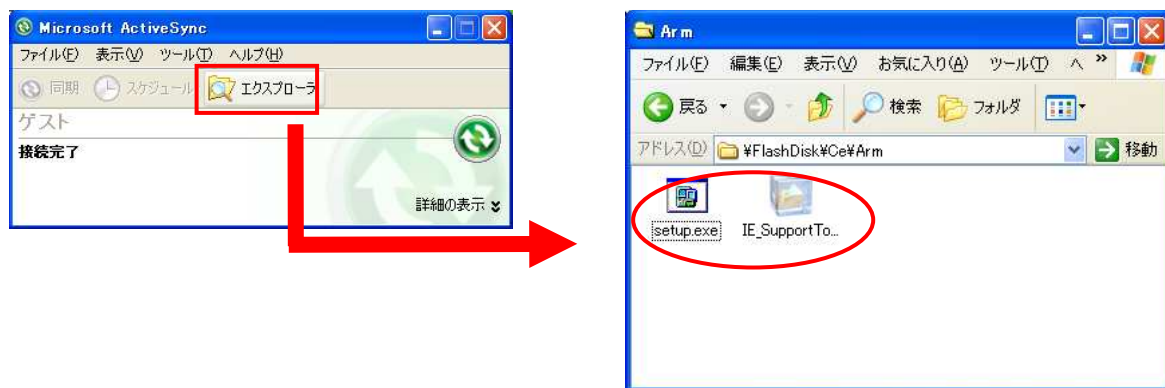
例) DT-X200 の場合（他の機種も同様です）

PC と DT-X200 をクレードルで接続します。



Mobile デバイスセンター接続完了後、DT-X200 の以下のフォルダに Setup.exe と IE_SupportTools_ARMvX.999.CAB をコピーします。

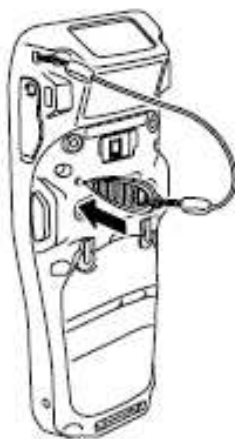
[ダウンロード先：¥¥FlashDisk¥Ce¥Arm]



本体裏のリセットボタンを押し、リセットすると起動後、自動的にインストールが行われます。インストールが終了すると、5 秒後に自動的にリセットされます。

インストールが完了したら、なるべくバックアップを行うことを推奨致します

DT-X200



3-2.インストール内容

ファイル

ファイル名	パス
SSLANCheck.exe	¥Program Files¥IESupportTools
IE_Tool.exe	¥Program Files¥IESupportTools
IE_Tool.ini	¥Program Files¥IESupportTools
IE-Settig.exe	¥Program Files¥IESupportTools
SSLANCheck.exe へのショートカット	¥Windows¥スタートアップ
Cache_Del.exe へのショートカット	¥Windows¥スタートアップ
SSLANConfig.lnk(SSLANCheck.exe へのショートカット)	¥Windows¥プログラム

レジストリ

HKEY_CURRENT_USER		
Software¥Microsoft¥Internet Explorer¥Main	Display Inline Videos	1
	Directional Tabbing	1
	Show AddressBar	1
	Display Inline Images	1
	Disable Auto SIP	1
	Show image placeholders	1
	Focus Rectangle	1
	Force-Fit Layout	1
	Force-Fit Hard Min	1
HKEY_LOCAL_MACHINE		
HARDWARE¥DEVICEMAP¥KEYBD	Fn9LaunchPath	¥Program Files¥IESupportTools¥ie_tool.exe

4. 機能紹介

4-1.無線 LAN 接続監視機能

4-1-1.機能内容

無線 LAN 接続監視機能は、電源 ON 時（リジューム復帰時）に無線 LAN がアクセスポイントに接続できるまで、ダイアログを表示し画面操作を行えなくする機能です。

その他、以下のような設定が可能です。

- ・ パスワード設定
- ・ 指定アプリケーション起動設定
- ・ リセット設定

4-1-2.構成

ファイル

ファイル名	パス
SSLANCheck.exe	¥Program Files¥IESupportTools
SSLANCheck.exe へのショートカット	¥Windows¥スタートアップ
SSLANConfig.lnk(SSLANCheck.exe へのショートカット)	¥Windows¥プログラム

レジストリ

HKEY_LOCAL_MACHINE		
SOFTWARE¥CASIO¥SSLANCheck	PassEnable	パスワード有効無効
	Pass	パスワード
	nTimeout	ダイアログ表示タイムアウト
	AppPass	起動アプリケーションパス
	AppEnable	アプリケーション起動有効無効
	Boot	ダイアログ表示中フラグ
	AppParam	起動アプリケーションの引数

4-1-3.起動オプション

無線 LAN 監視機能をオプション指定で実行すると動作を変更することができます。

指定可能なオプションは、下の表の通りです。

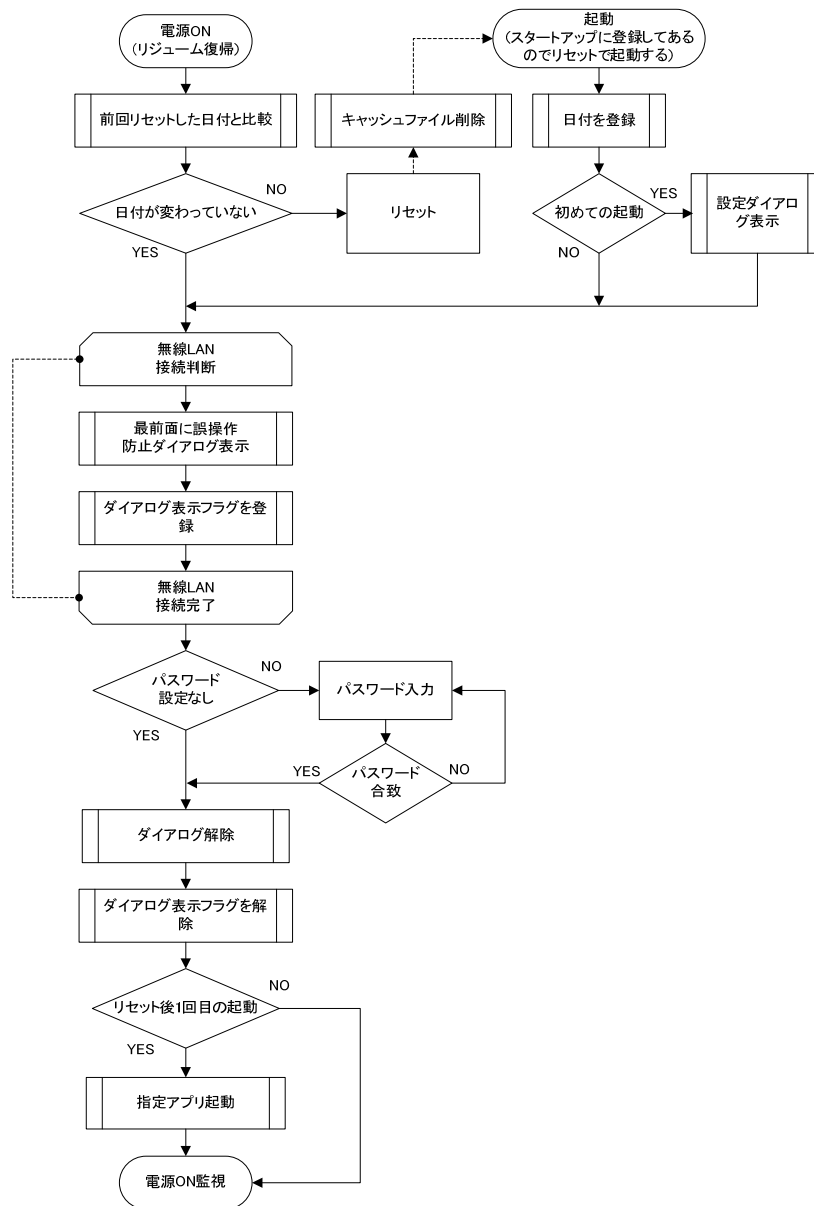
オプション	
/O	管理画面を表示して、起動します。 管理画面の詳細は、『4-1-7 管理操作』を参照してください。
/N	無線 LAN 監視機能が動作しているときに、タスクトレイに表示するアイコンを非表示へ変更します。

※ 無線 LAN 監視機能が起動していない場合に、/O オプション指定で起動すると管理画面を閉じた後、常駐せずアプリケーションが終了します。

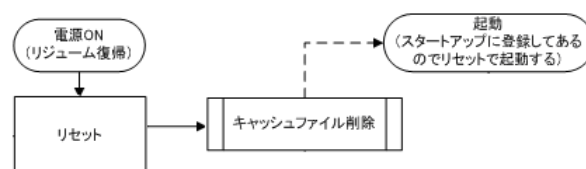
4-1-4.動作フロー

- 電源 ON 時の動作のオプション設定により動作フローが異なります。

1. 日付が変わったらリセット及び、指定日経過後リセット



2. 常にリセット



4-1-5.初期設定

はじめて起動すると画面 0-1 のような画面が起動します。

画面 0-1 の画面の隅を左下→左上→右上（①②③の場所）の順にタップすると、画面 0-2 が表示されます。※詳細は、4-1-6. 管理操作の項をご覧ください。

ここで待機メッセージ表示時間のタイムアウト設定、パスワード設定、起動アプリケーションの設定等を行って、保存ボタンを押してください。

管理画面（画面 0-2）に移行せずに“閉じる”ボタンを押下した場合は、初期値のまま起動します。

<初期値>

項目	IT-G500／DT-X100／DT-X200
待機メッセージタイムアウト時間	20 秒
起動時にパスワードを要求する	なし
パスワード	空白
アプリ起動	有
アプリパス	¥windows¥iesample.exe
電源 ON 時の動作	日付が変わったらリセットする
アプリ起動時の引数	スペース

※アプリ起動時の引数：全画面表示にする場合、引数に“/K”を指定する

画面 0-1
設定画面

画面 0-2
設定画面（入力可）

画面 0-3
設定画面（IE の全画面表示指定）

4-1-6.通常操作

- ① 本体の電源がON又は、リセットされると、パスワード設定の有無により画面 1-1、又は画面 1-2 が表示されます。
- ② あらかじめパスワードが設定されている場合には、パスワードを入力します。(画面 1-3) 無線 LAN の準備が完了し、入力したパスワードが正しい場合には、画面 1-1 を閉じてタスクトレイにアイコンを表示*1します (画面 1-4)。
- ③ 無線 LAN の準備が完了しても入力したパスワードが正しくない場合には、画面 1-3 を表示します。
パスワードが正しく入力された状態で、“閉じる” ボタン又は、**Enter** キーが押下された場合、画面 1-3 を閉じてタスクトレイにアイコンを表示*1します (画面 1-4)。
- ④ 無線 LAN の準備ができない (無線圏外等) 状態で一定時間 (初期値は 20 秒) 経過すると、画面 1-5、又は画面 1-6 (パスワード有りの場合) を表示します。
パスワードが正しく入力された状態で、“閉じる” ボタン又は **Enter** キーが押下された場合、画面 1-5、又は画面 1-6 を閉じてタスクトレイにアイコンを表示*1します (画面 1-4)。
- ⑤ 電源 ON 時に前回起動時より日時が変化していたらシステム安定化の為、リセットを行います (画面 1-7)。



画面 1-1
パスワード設定なし



画面 1-2
パスワード設定有



画面 1-3
パスワードエラー



画面 1-4
タスクバーアイコン



画面 1-5
無線 LAN 非接続






画面 1-6
無線 LAN 非接続 (パスワード)



画面 1-7
再起動要求メッセージ

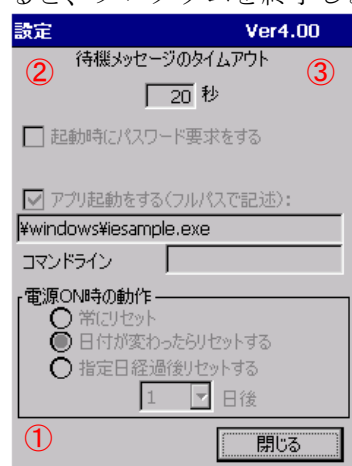
*1 タスクトレイ非表示版をインストールした場合は、タスクトレイにアイコンを表示しません。

4-1-7.管理操作

- ① 画面 2-1 でタスクトレイの  アイコンをタップすると、画面 2-2 が表示されます。
- ② [スタート]→[プログラム]→[SSLANConfig](画面 2-4) から管理画面を表示することができます。(画面 2-2)
- ③ 画面 2-2 で閉じるボタンをタップすると、画面を閉じてタスクトレイにアイコンが表示*1されます。(画面 2-1)
- ④ 画面 2-2 の画面の隅を左下→左上→右上 (①②③の場所) の順にタップすると、画面 2-3 が表示されます。
- ⑤ 画面 2-3 にてパスワードを入力することでパスワードが設定されます。
- ⑥ 画面 2-3 にて  または、  がタップされると、電源ON時のメッセージ表示のタイムアウト時間の設定を 1 秒単位で変更できます。(設定範囲 10~60 秒)
- ⑦ 画面 2-3 にてアプリ起動をするにチェックを入れ、起動するアプリのフルパスを入力すると監視画面表示後、指定したアプリケーションが起動します。
※このアプリケーション起動は、リセット起動時のみしかアプリケーションを起動させませんのでご注意ください。
- ⑧ 画面 2-3 で保存ボタンをタップすると、タイムアウト値、パスワード登録、起動アプリケーション登録、電源 ON 時の動作を指定して、画面を閉じてタスクトレイにアイコンが表示*1されます。(画面 2-1)
- ⑨ 画面 2-3 で終了をタップすると、プログラムを終了します。



画面 2-1



画面 2-2



画面 2-3



画面 2-4

*1 SSLANCheck.exe の起動オプションに /N を指定した場合、タスクトレイにアイコンを表示しません。

4-2. キャッシュ削除機能

4-2-1. 機能内容

本体リセット起動時に IE で利用しているキャッシュフォルダのファイルを削除します。

キャッシュフォルダ	
¥Windows¥Profiles¥guest¥Temporary Internet Files¥Content.IE5	

4-2-2. 構成

ファイル

ファイル名	パス
Cache_Del.exe	¥Windows
Cache_Del.exe へのショートカット	¥Windows¥スタートアップ

4-3.IE 操作機能

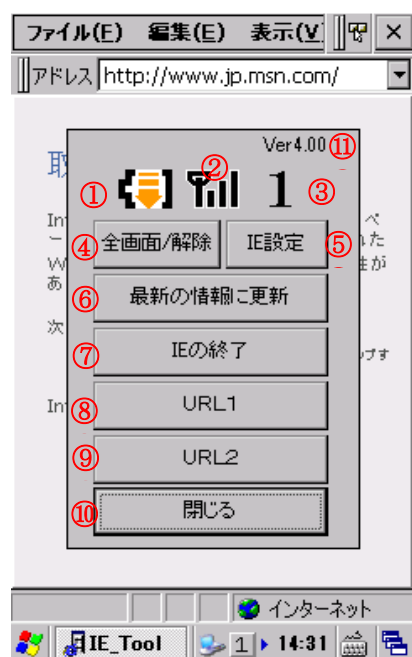
4-3-1.機能内容

IE の以下の操作をメニュー画面から操作できるようにします。

Fn+F9 でメニューを起動します。IE が未起動の場合は、IE を起動します。

メニュー画面では、以下の操作が可能です。

- ・ IE の起動
- ・ ツールバーの非表示/解除
- ・ 最新の情報に更新
- ・ IE の終了
- ・ 指定 URL へ移動
- ・ IE 設定



メニュー画面

- ①現在の電池残量の表示
- ②現在の無線 LAN 電波強度の表示
- ③現在の文字入力モードの表示
- ④ツールバーの非表示/解除します
- ⑤IE 設定画面へ遷移します
- ⑥最新の情報に更新します
- ⑦IE を終了します
- ⑧INI ファイルに定義した URL1 へのショートカット
- ⑨INI ファイルに定義した URL2 へのショートカット
- ⑩このメニューを閉じます
- ⑪プログラムのバージョンの表示

<電池残量表示>

デバイスの状態に応じて以下のアイコンを表示します。

アイコン					
電池残量 (%)	60 以上	50、40	30、20	10 以下	充電中

<無線 LAN 電波強度表示>

デバイスの状態に応じて以下のアイコンを表示します。

アイコン					
電波強度 (dbm)	-66 以上	-67~-72	-73~-78	-79 以下	非接続

<キー入力モード表示>

現在のキー入力モードの状態に応じて以下のアイコンを表示します。

アイコン					
キー入力モード	数字	英大文字	英小文字	ひらがな	カタカナ

<全画面/解除>

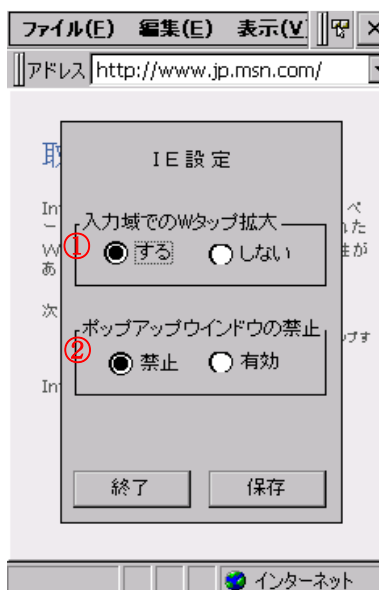


通常表示



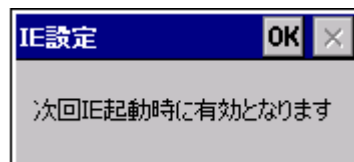
全画面表示

<IE 設定>



IE 設定画面

- ①入力域でのダブルタップで拡大設定
する／しない（次回起動時に有効となる）
- ②ポップアップウィンドウの禁止設定
禁止／有効（次回起動時に有効となる）
- ③保存ボタン押下時にメッセージを表示



<最新の情報に更新>

IE に対して、最新の情報に更新のコマンドを送ります。

<IE の終了>

IE を終了させます。

<INI ファイル>

INI ファイルには、IE 操作機能の動作を定義した設定値を格納します。

INI ファイル格納場所：¥Program Files¥IESupportTools¥IE_Tool.ini

INI ファイル書式

- ・ KEY と VALUE の区切りは”=”です。
- ・ 行の最後は CR または CR/LF です。

INI ファイル形式

- ・ ファイル形式は、「UTF-8」です。
- ・ INI ファイルの編集について
INI ファイルは、「UTF-8」形式のため、パソコンのテキストエディタで編集し保存するには必ず「UTF-8」で保存してください。

[Data]セクション

- ・ IE_START_FLG:Fn+9 キーで、IE が未起動に IE 起動をする/しないの設定を記述します。
設定範囲は、0~1(*1)です。設定範囲外の時は、0 になります。
- ・ BUTTON_FOCUS:メニューのフォーカス位置を記述します。
設定範囲は、1~6(*2)です。設定定範囲外の時は、6 になります。
- ・ URL_NAME1:メニューの URL 1 のボタン上に表示される、名称を記述します。
文字列の制限は、最大 128 バイトです。但し、ボタンサイズは固定のため、文字が欠けて表示されます。
- ・ URL_NAME2:メニューの URL 2 のボタン上に表示される、名称を記述します。
文字列の制限は、最大 128 バイトです。但し、ボタンサイズは固定のため、文字が欠けて表示されます。
- ・ URL1:メニューの URL1 にて移動する URL を記述します。
- ・ URL2:メニューの URL2 にて移動する URL を記述します。

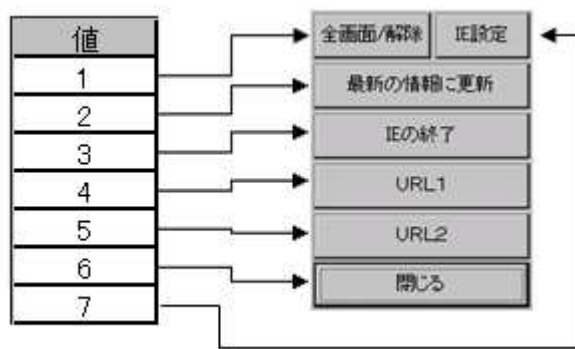
初期値

KEY	VALUE
IE_START_FLG	0
BUTTON_FOCUS	6
URL_NAME1	U R L 1
URL_NAME2	U R L 2
URL1	http://jp.msn.com
URL2	http://world.casio.com

*1 : IE_START_FLAG の設定値

値	説明
0	Fn+9 で、IE を起動する
1	Fn+9 で、IE を起動しない

*2 : BUTTON_FOCUS の設定値



レジストリ (IE 設定)

HKEY_CURRENT_USER		
SOFTWARE¥Microsoft¥Internet Explorer¥Gesture	GestureCapabilities	IE 画面でのダブルタップ拡大
SOFTWARE¥Microsoft¥Internet Explorer¥PopupBlocking	BlockPopups	ポップアップウィンドウの禁止

初期値

項目	IT-G500	DT-X100/DT-X200
IE 画面でのダブルタップ拡大	0xF12	0xF10
ポップアップウィンドウの禁止	なし	なし

カシオ計算機お問い合わせ窓口

ソフトウェア開発に関するお問い合わせ

- テクニカルインフォメーション・オンラインサポートサービス（有償）

<https://techinfo.casio.co.jp/support/>

製品に関する最新情報

- 製品サポートサイト（カシオペア・ハンディターミナル）

<http://casio.jp/support/ht/>

製品の取扱い方法のお問い合わせ

- 情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS 等をご利用の場合、**048-233-7241**

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4638(代)